平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年4月26日

上場会社名　スミダコーポレーション株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6817　URL　http://www.sumida.com
代表者　(役職名) 代表執行役CEO　(氏名) 八幡　滋行
問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役CFO　(氏名) 本多　慶行　TEL 03-3272-7100

四半期報告書提出予定日　平成24年5月11日　配当支払開始予定日　平成24年5月29日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	12,375	△6.7	197	△68.0	164	△75.3	90	△78.5
23年12月期第1四半期	13,259	2.8	618	△39.7	665	△15.4	419	△35.7

(注)包括利益　24年12月期第1四半期　1,201百万円　(△26.1%)　23年12月期第1四半期　1,625百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	4.69	—
23年12月期第1四半期	21.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年12月期第1四半期	49,782	8,448	15.8	410.13
23年12月期	47,497	7,186	14.1	348.92

(参考) 自己資本　24年12月期第1四半期　7,879百万円　23年12月期　6,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	7.00	7.00	6.00	0.00	20.00
24年12月期	5.00				
24年12月期(予想)		5.00	5.00	5.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	52,100	△1.2	1,900	△10.0	1,224	△5.4	665	33.9	34.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
(注)第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	19,944,317 株	23年12月期	19,944,317 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	732,245 株	23年12月期	732,085 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	19,212,149 株	23年12月期1Q	19,212,359 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料は、当社の評価を行うための参考資料となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。また、当資料に掲載されている予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時点の判断ですが、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
（４）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（７）重要な後発事象 …… 11
４．補足情報 …… 12
設備投資、減価償却費、研究開発費の推移 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間では、欧州の信用不安に対する各国の対応策が前進をみせ、米国では堅調な雇用増が続き消費も伸びてきましたが、一方で中国等新興国の経済成長が鈍化し、また中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇懸念される等世界経済の先行きは見通しづらい状況でした。

当第１四半期連結累計期間における電子部品業界を見ますと、自動車向けは前年から引き続き堅調に推移しました。一方、家電関連ではスマートフォン、タブレット端末は引き続き好調だったものの、パソコンの更新需要は低い伸び率にとどまり、テレビの需要は引き続き低迷する等最終需要の先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループでは中期経営計画のステージⅠ（オペレーションの再編成と基礎固め）において、「収益性の向上」、「グローバル・キャッシュ・マネジメント」、「プロダクト・マネジメント」及び「激変する外部環境に対する適応力の強化」を重点項目として取り組み、企業価値の向上に努めました。

当第１四半期連結累計期間の売上高は自動車関連向けは昨年から引き続き堅調であったものの、家電関連向け、産業関連向けが伸び悩んだことにより、前年同期比6.7%減の12,375百万円となりました。営業利益は同68.0%減の197百万円、経常利益は同75.3%減の164百万円、四半期純利益は同78.5%減の90百万円となりました。

（報告セグメントの状況）

当第１四半期連結累計期間における報告セグメントの状況は次のとおりであります。

① アジア・パシフィック事業

アジア・パシフィック事業では、自動車向けの需要が堅調に推移したものの、家電関連でパソコンや薄型テレビ等に停滞感がみられたことなどから、当第１四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比5.1%減の8,017百万円になりました。営業利益は同33.6%減の458百万円となりました。

② ＥＵ事業

ＥＵ事業は、自動車向けは堅調に推移したものの、家電関連向け、産業機器向けが伸び悩んだことにより、当第１四半期連結累計期間の売上高は前年同期比9.4%減の4,358百万円となりました。営業利益は同21.6%減の321百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における資産は49,782百万円となりました。現金及び預金、商品及び製品が減少したものの、受取手形及び売掛金の増加などにより流動資産が858百万円増加し、恒常的な設備投資及び期末の為替の影響で有形固定資産の円貨額が増加したこと等により固定資産が1,396百万円増加しました。これにより、当第１四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比2,285百万円増加しております。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における負債は41,334百万円となりました。短期借入金が1,635百万円減少したものの、社債が1,650百万円、長期借入金が1,706百万円増加したこと等から、前連結会計年度末比1,023百万円増加しております。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末の純資産は8,448百万円となりました。四半期純利益90百万円を計上したこと、主に円安が進んだため為替換算調整勘定の純資産の部からの控除額が前連結会計年度末比1,075百万円減少したこと等により、1,261百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の14.1%から15.8%となり、１株当たり純資産額は348円92銭から410円13銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第１四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末比460百万円減少し、6,390百万円となりました。

当第１四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は41百万円（前第１四半期連結累計期間は0百万円の支出）となりました。売上債権の増加により419百万円、仕入債務の減少で199百万円等の資金流出があったものの、たな卸資産の減少により646百万円、減価償却費により549百万円等の資金流入があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は573百万円（前第１四半期連結累計期間は635百万円の支出）となりました。

有形固定資産の取得による781百万円等の支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は374百万円（前第１四半期連結累計期間は457百万円の収入）となりました。長期借入により2,100百万円、社債の発行により2,000百万円等の資金調達があったものの、短期借入金の返済による2,556百万円、長期借入金の返済による1,188百万円、社債の償還による715百万円等の支出があったことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

為替市場において対ドル、対ユーロで円高修正の動きはありますが、未だ不確定要素が多く、現時点で合理的な根拠に基づいて予想することが困難な状況です。従いまして第２四半期累計期間の業績予想は引き続き開示しておりません。なお、現時点において通期業績予想の変更はありませんが、引き続き精査を行い、業績への影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,912	6,446
受取手形及び売掛金	9,580	10,500
商品及び製品	4,255	3,717
仕掛品	862	1,025
原材料及び貯蔵品	2,909	3,064
未収還付法人税等	304	333
その他	1,700	2,295
貸倒引当金	△43	△43
流動資産合計	26,481	27,340
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,495	9,780
機械装置及び運搬具	22,790	24,470
工具、器具及び備品	3,696	3,871
土地	1,275	1,309
リース資産	851	919
建設仮勘定	674	918
減価償却累計額	△25,878	△27,474
有形固定資産合計	12,905	13,796
無形固定資産		
のれん	2,447	2,587
その他	887	833
無形固定資産合計	3,335	3,421
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	4,711	5,131
固定資産合計	20,952	22,349
繰延資産		
繰延資産合計	63	93
資産合計	47,497	49,782

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成24年３月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,397	3,370
短期借入金	20,824	19,188
未払法人税等	180	323
その他	6,211	5,419
流動負債合計	30,613	28,302
固定負債		
社債	1,050	2,700
長期借入金	6,357	8,064
退職給付引当金	716	775
その他	1,572	1,492
固定負債合計	9,697	13,031
負債合計	40,310	41,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,216	7,216
資本剰余金	7,029	7,029
利益剰余金	6,871	6,961
自己株式	△1,524	△1,524
株主資本合計	19,593	19,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	34
為替換算調整勘定	△12,914	△11,838
その他の包括利益累計額合計	△12,890	△11,804
少数株主持分	483	568
純資産合計	7,186	8,448
負債純資産合計	47,497	49,782

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	13,259	12,375
売上原価	10,647	10,207
売上総利益	2,612	2,167
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	153	132
従業員給料及び手当	686	744
減価償却費	67	62
研究開発費	263	284
その他	822	745
販売費及び一般管理費合計	1,994	1,969
営業利益	618	197
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	6
為替差益	146	98
デリバティブ評価益	49	48
その他	9	9
営業外収益合計	212	161
営業外費用		
支払利息	130	166
その他	35	28
営業外費用合計	165	195
経常利益	665	164
特別利益		
固定資産売却益	16	77
減損損失戻入益	74	－
受取保険金	－	127
その他	2	3
特別利益合計	93	208
特別損失		
固定資産除売却損	6	4
事業構造改善費用	97	50
災害による損失	51	76
特別役員退職慰労金	－	315
その他	3	－
特別損失合計	159	447
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	599	△74
法人税等	166	△190
少数株主損益調整前四半期純利益	433	115
少数株主利益	14	25
四半期純利益	419	90

(四半期連結包括利益計算書)
(第１四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	433	115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	10
為替換算調整勘定	1,190	1,075
その他の包括利益合計	1,192	1,085
四半期包括利益	1,625	1,201
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,611	1,175
少数株主に係る四半期包括利益	14	25

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	599	△74
減価償却費	535	549
のれん償却額	72	67
受取利息及び受取配当金	△6	△6
支払利息	130	166
為替差損益（△は益）	0	△0
事業構造改善費用	97	50
減損損失戻入益	△74	－
デリバティブ評価損益（△は益）	△49	△48
売上債権の増減額（△は増加）	△699	△419
たな卸資産の増減額（△は増加）	△5	646
仕入債務の増減額（△は減少）	△84	△199
その他	△248	△472
小計	266	260
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△126	△156
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△148	△68
営業活動によるキャッシュ・フロー	△0	41
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	11	28
定期預金の預入による支出	△13	△3
有形固定資産の取得による支出	△506	△781
貸付金の回収による収入	0	0
投資有価証券の売却による収入	12	－
関係会社株式の取得による支出	△53	△0
その他	△86	182
投資活動によるキャッシュ・フロー	△635	△573
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	271	△2,556
長期借入れによる収入	1,500	2,100
長期借入金の返済による支出	△733	△1,188
社債の発行による収入	－	2,000
社債の償還による支出	△375	△715
配当金の支払額	△192	△0
その他	△13	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	457	△374
現金及び現金同等物に係る換算差額	291	446
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	113	△460
現金及び現金同等物の期首残高	7,275	6,851
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,389	6,390

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自 平成23年１月１日 至 平成23年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計
	アジア・パシフィック事業	ＥＵ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,450	4,809	13,259
セグメント間の内部売上高又は振替高	243	286	530
計	8,693	5,096	13,790
セグメント利益	690	410	1,100

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,100
全社費用（注）	△482
四半期連結損益計算書の営業利益	618

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

注記すべき事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		合計
	アジア・パシフィック事業	ＥＵ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	8,017	4,358	12,375
セグメント間の内部売上高又は振替高	148	263	411
計	8,165	4,621	12,786
セグメント利益	458	321	780

２．報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	780
全社費用（注）	△582
四半期連結損益計算書の営業利益	197

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

注記すべき事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

該当事項はありません。

４．補足情報

設備投資、減価償却費、研究開発費の実績値

（単位：百万円）

区分	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
設備投資	521	791
減価償却費	535	549
研究開発費	263	284